

株式会社ウラノ
(URANO Co.,Ltd.)

銘柄コード	-
法人番号	7030001060471

*は選択開示項目

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	26	生産用機械器具製造業
細分類 (主たる事業)	2671	半導体製造装置製造業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	常務取締役 中嶋裕則

エネルギー総使用量	103,020 (110,127)	GJ	2,658 (2,841)	kℓ
前年度エネルギー 総使用量			2,943	kℓ
非化石エネルギー 総使用量*	34,185	GJ	882	kℓ
調整後温室効果ガス 排出量	4,925		t-CO ₂	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業における エネルギー消費原単位 [※] (2023年度実績)	原単位分母				
	主たる事業 の構成割合				
	100.0 (100.0) %				
事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
		104.1	99.3	86	94.7
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)	95.8				

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別*	合計量*
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に
基づき各事業者が決定したものを。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2023年度実績)*	原単位分母				
	非開示				
DR実施日数*	非開示				
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比*	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
					非開示
事業者全体の 5年度間平均原単位変化*	非開示				

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	10.0%				
直近5年度間の実績値	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
					37.9%
目安設定業種	-				
目安(2030年度)	-				
目標(2030年度)	-				
直近5年度間の実績値	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
					-
目安設定業種	-				
目安(2030年度)	-				
目標(2030年度)	-				
直近5年度間の実績値	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
					-

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	-
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	-
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	-
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	-
ベンチマーク指標の状況	-	

【取組の概要: 業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

(自由記述欄)

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

※: 本開示シートを開覧するにあたっては「省エネ法定期報告情報の開示制度手引き」を参照をお願いします

【参考情報】

<業界の特色>

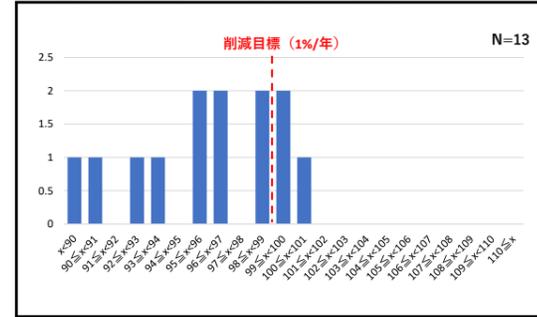
生産用機械器具製造業では、物の生産に供される機械器具を製造します。具体的には農業用機械、建設機械、鉱山機械、繊維機械、金属加工機械、半導体製造装置等を製造します。産業機械は製造事業所等で恒常的に使用されます。

生産用機械器具製造業では、2022年度において国内の産業の1.1%のCO2を排出しています。省エネルギーとCO2排出量の削減のためにボイラーや熱処理設備の更新、高効率照明の導入、動力のインバータ化、台数制御、変圧器の高効率化、電力監視システムの導入等に取り組んでいます。特に空調の高効率化や高効率照明の導入を中心に省エネルギーとCO2排出量の削減に取り組んでいます。そして、産業機械はライフサイクルが長く、製造段階と比べ使用段階でのエネルギー使用量が多くなるため、高効率な産業機械の開発・提供に取り組んでいます。

<定期報告書データに基づく業界毎の集計値>

2671 半導体製造装置製造業		2023年度報告(2022年度実績)		
		平均値	中央値	最大値
エネルギー総使用量	kl	11,184	3,614	38,670
非化石エネルギー総使用量	kl			
調整後温室効果ガス排出量	t-CO ₂	10,373	5,053	44,611
DR実施日数	回			

<5年度間平均原単位変化 2023年度報告(2022年度実績)>



【取組の概要: カーボンニュートラルに向けて】

(自由記述欄)

1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)

2. 関連リンク